

温室効果ガス削減の「見える化」の推進

環境負荷低減の取組に対する消費者理解の醸成を図るため「小さなことからコツコツと」温室効果ガス削減の「見える化」を消費者に浸透させる。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

(温室効果ガス削減「見える化」実証事業)

○ きっかけ・背景、課題の把握

令和4年、5年に行った温室効果ガス削減「見える化」の実証では、京都府内は1事業者(2日間)しか実施されず、消費者の環境負荷低減に関する理解醸成まで至らなかった。

令和6年度に「見える化」の本格運用が始まるにあたり、「見える化」農産物を取り扱う店舗数を増やすことで、消費者へ環境負荷低減の取組を浸透させる。

○ 取組の内容

大手スーパー等でなく、農家と直接チャンネルを持つ小規模な有機農産物取扱小売店(八百屋)に職員が個別訪問。小売店に取引のある有機農産物生産農家を紹介してもらい、生産者に温室効果ガス削減の「見える化」の実証事業への参加を要請。また、小売店に対して「見える化」農産物の実証販売への協力をお願いした。

○ 効果・成果、今後の方向性

当拠点の働きかけにより、一部小売店からは「取組に興味がある」との前向きな反応があった。今後も「見える化」に参加する生産者・小売店を増加させ、消費者へ環境負荷低減の取組をアピールする。

